

# 2. ほんなことができる!!

Step1. 知る、情報を集める ▶ Step2. 自分たちから発信する ▶ Step3. 始める、発信

## Step2. 自分たちから発信する

### 発表会・勉強会・展示会を企画

今度はあるイベントを企画してみよう。エイズに詳しい人を呼んで、講演してもらったりするとさらに広がりが出るよ。

- 人数** 2人〜 (司会進行役、受付、資料配付、記録) **必要なもの** 講師、配付資料  
**かかるお金** 講演料 (必要な場合)、会場費 (必要な場合)、紙代、コピー代  
**手順** 1. 勉強したい内容と、講師になってくれる人を考える。

2. 講師を探す。  
 ほかの勉強会や講演会に出ていて面白い人を探してみよう。

3. 講師 (いる場合) と打ち合わせ。  
 NGOなどで講師を派遣してくれるところもある。近頃のNGOに聞いてみよう。HIV陽性者のスピーチカード制作やワークショップができることもある。知りたいうちから調べて依頼し、費用や日程を相談してみよう。

4. 会場を探す。  
 予算と企画内容・規模に合った会場を探そう。

5. 宣伝する。  
 講師が足りなくなるのを防ぐために、会場近くのコンビニもチェック。

6. 当日の準備。  
 会場の準備、配付資料の準備をする。必要なら、講師料など (領収証を置いてもらう) も事前に準備しておく。講師、お客さんに迷惑がからないように、当日スタッフになるメンバーの役割分担を十分確認しておくこと。

7. 開催中。  
 どんな様子だったか、記録をしておく。報告書を作成すると便利。お客さんにはアンケートを書いてもらうと反応が分かり、次の参考になる。

8. 終了後。  
 できれば講師やお客さんと食事をするのも楽しい。新しいアイデアや人脈ができることも。後日、アンケートをまとめて講師に送ると喜ばれる。

### パネル展示

HIV/エイズの基礎知識や写真などのパネル展示。

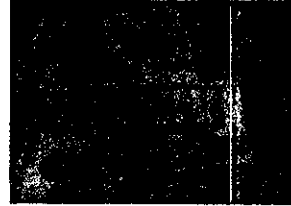
- 人数** 1人〜  
**必要なもの** かかるお金 展示作品、(郵送してもらう場合) 作品の送料、会場使用料、など。  
**手順** 1. 展示パネルをえらぶ。  
 パネルの場合、サイズや枚数、展示方法、費用を確認する。

2. 会場を探す。▶ 3. イベント集へGo!  
 展示方法や展示可能な枚数を確認しよう。  
 お客さんが来やすい場所が良い。学校や市町村の施設を使用するの一手。

3. 宣伝する。▶ 3. イベント集へGo!  
 4. レンタルの手配をする。  
 発送が必要なレンタルの場合は、到着までに必要な日数を確認して余裕を持って準備しよう。

5. レンタルしたパネルの返却。  
 送られてきた状態にできるだけ近い状態に梱包して返送しよう。万が一、破損などがあつた場合には、返送する前に先に先方に連絡しよう。

★貸し出しパネルの例:  
 ●パネル [Positive Lives]  
 アジアのHIV感染者の写真パネル。  
 AIDS&Society研究会  
 (費用: 掲載により¥13,000前後の送料)  
 連絡先: 03-3200-0399  
 mail@asajp.org



# 2 ほんなことができる!!

Step1.知る、情報を集める ▶ Step2.自分たちから発信する ▶ Step3.始める、続ける

## フリーペーパーやミニコミ誌をつくる。

ちいさい新聞のようなもの。折などでもよくみかけるはず。気に入ったものがあれば、マネして作ってみよう。

**人数** 1人～ **必要なもの** かがねるお茶 紙代、印刷代(コピー代)

**手順** 1.ミニコミの名前、内容を決める。

2.サイズや形、折り方を決める。  
(例)A4サイズ、2つ折り、など、工夫のしどころ)

3.記事を書く、他の人にも依頼してみる。

4.編集作業:記事を版面に割りつけていく  
いちばん最初のページにタイトルを入れる。

また、版面のどこかに発行日と発行先(グループ名など)を入れる。

5.コピー印刷

友だちに配るなら最初は100部(5いも目安に  
(もちろんもっと多くでも))。

6.新って完成!

7.配布 ▶ 3.ヒント集へGo!

実はいちばん重要な部分。誰にいちばん読ませたいか?を考えて、見せたい人がいる場所(喫茶店、CD屋、喫茶店など)に置いてもらう。

8.無料(年に4回)、月刊(月1回)、など、定期的に発行してみる。

★参考になる本

近藤憲『ミニコミのつくり方—あなたにしか作れない“最小限規模”のメディアの楽しみ方』  
情報センター出版局、1997年。



紙や写真をたくさん入れると折れやす。裏面法を入れておく(感想がくまかも(フリーアドレスなど))

大量に印刷する場合は「リソグラフ」という印刷機が便利。

近くの図書館や青少年センターなどにも聞いてみよう。



8

## “アウトリーチ”を試してみる!

校内や街中、イベントなど人のいるところで情報発信や企画をすること。

**人数** 当日2人～

**必要なもの** フライヤーや配布するもの、テーブル、(あれば)パネルなど展示するもの

**かかるお金** 出展料、交通費、印刷代

**手順** 1.文化祭、卒業、エイズのイベント、その他のイベントなどを探す。

例) AIDS文化フォーラム in 横浜

<http://www.yokohamaimca.org/AIDS/index.htm>

例) 野外イベント等でNPOブースを提供しているところもある。

・アースガーデン <http://www.aarth-garden.jp/>

・フジロックフェスティバル <http://www.fujirockfestival.com/>

2. 何をアピールし、配布するか考える。

近くわかりやすいテーマの方が効果がある。フライヤーなど、配布するものも簡潔なものの方が受け取った人に残ってもらえる。色んな考えの人と出合えて話せる機会なのでお互い勉強になる。

最近聞かなくなってしまったのがイベント。



9

# 2 「こんなことができる!!」

Step1.知る、情報を集める ▶ Step2.自分たちから発信する ▶ Step3.始める、続ける

## Step3.始める、続ける

### 1. 「ほかのグループに参加する」

#### NGOの活動に参加する。

近くのNGOなどで興味のある活動をしているところがあれば、参加してみよう!今度自分が見えなくなった、一緒にイベントを企画したりすることもできる。▶ 5.参考になるWebsiteへGo!

#### メンバーシップに参加する。

同じことに関心のある人同士が同時に情報交換できるメールシステム。仲間を見つけたことができるかも!

- 人 数** 1人〜 **必要なもの** インターネットが接続できる環境、E-mailアドレス
- 手 順** メンバー登録が必要なメンバーシップと不要なメンバーシップがある。必要な場合は、それぞれのリストの管理人に連絡をし、メンバー登録してもらおう。不要の場合は、自分で直接E-mailアドレスを登録する。

#### ★ HIVエイズのメンバーシップの例

- Youth AIDS Activist Network (YAAN):  
エイズに関連する活動をしている10〜20代の情報交流ネットワーク。詳細:登録については、<http://groups.yahoo.co.jp/group/YAAN/>
- J-AIDS:  
エイズに関する様々な情報が飛び交う日本最大のエイズ関連メンバーシップ。詳細:登録は<http://groups.yahoo.co.jp/group/jaid/>

#### 研修を受ける

ボランティア研修の例

- ★ (株)エイズ予防財団主催「ボランティア指導者研修会」  
例年1〜3月に開催される2泊2日の研修会。毎回1つのエイズNGOが主催団体となり、プログラムを考えて運営するため、内容は毎年異なる。問い合わせは(財)エイズ予防財団へ03-3592-1182。
- ★ HIVと人権「情報センター」主催「エイズボランティア基礎研修」問い合わせ:03-5259-0622(東京支部)
- ★ がれいす東京

ボランティア・スタッフとして活動に参加する意思のある人に参加を実施。詳しくは、

<http://www.ptokyo.com/main/participate-new.html>

または、事務所に電話で問い合わせのこと(03-3361-8964 受付時間13:00〜19:00)

「エイズというマイナーな問題だと思われることがあるので、性の慣習や性行動について広く知ってもらうように工夫している。」ー Alicia, オーストラリア

### 2. 「自分(たち)で企画してみる」

#### メルマガ(メールマガジン)を発行する。

流したい情報を編集し、希望する読者へメールで配信する便利なシステム。

- 人 数** 2人〜
- 必要なもの** インターネット接続環境、E-mailアドレス。最小限のホームページ制作知識(「ホームページビルダー」のようなソフトを使うと楽かも)。
- かかるお金** インターネット接続料、(他の人に依頼するなら)原稿料
- 入る(おま)** スポンサーを見つけたら広告料が入る可能性がある。
- 手 順** 1.誰にどのような情報を提供するか決める  
コンピュータや具体的な読者層を考えて設定した方が共通も得やすいし、読者も得やすい。読者からの反響も多くなる。他のメルマガを参考にしてみよう。

- 2.メルマガを発行するメンバーや役割、発行元の名前(グループ名)を決める。  
メルマガは継続的な活動なので、色々決めておいた方が後で便利かも。原稿を書く人と原稿をチェックする人は分けた方がミスが少なくなるのでベター。また、定期的に配信する方が読者が増える。

- 3.読者に登録してもらおうホームページを作る  
興味を持ってもらえるように、メルマガのコンセプトや内容を載せよう。

- 4.大体の内容を書いた原稿をメルマガ発行会社に送って、発行の申請をする。  
例)「まくまく」 <http://www.mag2.com/crenel/>  
「メルマガ」 <http://www.melma.com>

- 5.申請許可が出たら発行準備  
デザインを考える。(※●)等を使用して、見栄えをよくなる。原稿も用意しよう。

- 6.配信開始  
「読者の知りたがり」をいかに届けるか、など工夫して読者を増やしていこう。毎回読者数をチェックするのもよい。  
例)神世特集 <http://www.cai.present.to/>

# 2 いろんなことができる!!

Step1.知る、情報を集める ▶ Step2.自分たちから発信する ▶ Step3.集める、繋げる

「若い人間は新しいことに挑戦するのは上手だから、その氣になればとんと自分たちで学ぶことができる。だけと必要なのは、コミュニケーションスキル、オトナに心を置いてもらってアドバイスをもらえるようにね。」  
Vincent、ファイレン

## クラブイベント

エイズをテーマにみんなまで盛り上がりよう!エイズに興味のない人へのアプローチとしても有効。

- 人数 当日5人~(司会役、進行役、受付、記録、会場整理)
- 必要なもの 出演者、会場(音響施設が整っているところ)、フライヤー
- かかるお金 出演料、会場代、フライヤー代 **人づくお金** 入場料
- 事前準備の時間 1.企画内容、出演者を決める。

お客様にエイズについて考えるきっかけを持ってもらうアイデアを練ろう。

例)コンドーム配布、HIV感染後自身の話など。

他のグループとのコラボレーションも面白いかも!

- 2.会場を選ぶ ▶ 3.ヒートマップ!Go!
- 3.出演者の交渉  
3ヶ月前を目安に、企画コンセプトを説明し、内容と出演料について話し合う。
- 4.イベント名、内容、当日までのスケジュールを作成  
来てもらいたいお客様に興味を持ってもらやすい題名を考えよう。スケジュールは余裕を持って!
- 5.宣伝する ▶ 3.ヒートマップ!Go!  
せっかくだからクラブイベントのもうひとつの顔、フライヤーを作って告知しよう。
- 6.イベント当日  
タイムスケジュールを作成し、メンバーの担当を決める。必要な担当は、出演者担当(イベント中の案内、出演料の支払)、会計担当、進行担当、会場整理担当、緊急対応。必ず全体的に把握する担当を1人おくこと。また、お金を管理する人は少数固定にした方が何かあったときに責任が明確になる。
- 7.イベント終了  
お金の清算と後片付けをしよう。

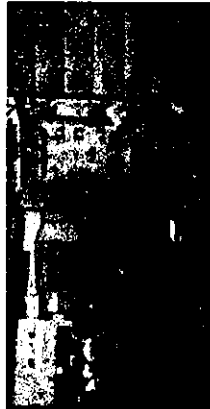


# 3 ヒント集 (Tips for your action!)

## 1 会場選定

予算や会場の大きさ、設備をチェックすることが重要。次に、来てほしい人が来やすいように、アクセス方法や立地を考えて選ぶ。学校内や市町村の施設は安くして権利、良いところが近くにないかチェックしてみよう。

クラブイベントの場合は、少しポイントが変わる。企画に合った会場か? 入場可能な人数は? 音響などの設備もチェック。足りない機材はレンタルする。会場の費用については、お店の担当者や事前に話しておこう(例: 貸切にする、売上を折半する、等)。



## 2 伝える

来てほしい人がいるところに宣伝することが大事。タイミングは、早めが吉。イベントや勉強会などでは、事前予約制にすると人数を把握できるので会場や資料などの準備がしやすい。

### その1: メールを出す

イベントの詳細が決まったらメールを使って広く知らせよう! 低コストで宣伝できるのが利点。日時・場所・内容・当日の連絡先・参加費の有無・募集期などを簡単に書く。そのイベント用のHP (1ページでも良い) を作成することができればスコイ良い。そこには、会場の地図やメールで書ききれなかった詳細情報を掲載しよう。

お客さんの気持ちになって考えて、出来るだけわかりやすいお知らせをしよう。そうすれば、イベント当日の問い合わせ対応を極力避けられる。

「～監修歓迎～」なんて書くとか、受け贈った人が悪くありません。な人にメールしてあげる可悪性があるよ。

### その2: フォト、フライヤーをつくる、配る

日時・場所(募集期からの地図)、題名、内容を簡単に書く。イベント当日の連絡先も書いておいた方が無難。イベントの場合は、フライヤーを作ろう。印刷会社に印刷を頼む場合は、デザイン案を伝えれば有料で制作してくれる場合もある。

ポイントが配布、または協力者中心に配布し変遷を運んで来てもらうことから考えよう。集客人数がある程度つかめるかもしれない。余力があれば、会場に近い街のフライヤーを置かせてもらえらる所に置こう!

新しい印刷屋さんのお問: 「グラフィティ」  
<http://www.gleivity.com/>

### その3: ほかにも...

協力してくれる先生の授業や、友達とのイベントなどでの宣伝も有効。学校なら掲示板やフライヤー置き場を活用しよう。新聞の読者投稿コーナーにも問い合わせてみると、取り上げてくれる可能性あり。

# 3 ヒント集 (Tips for your action!)

## 3 記録する。

イベントや活動をするときには、きちんと記録をとっておくと、活動報告や、次の助成金の申請のときなどにとても便利。記録のポイントは、イベントへの来場者数や企画への参加者数、実施時間や内容のメモが有効。また、来場者にアンケートをとっておくと、実施後の成果を確認したり、反省ポイントを見つけたりと、振り返りをするのにも役立つ。協力していただいた方や企業への報告にも使える。

## 4 協賛・協力を依頼する (企業編)

アウトリーチやイベントなどで、コンドームやその他の商品を配ったり、必要な資金の提供などを財団やNGO、企業に依頼したいときには、簡単な企画書があると便利。自分たちも説明がしやすいし、企画の目的や内容について相手の方にも理解していただくやすい。

依頼する場合の手順だが、

- 1 1まず電話をして、面会や企画書送付先などを確認する。適切な担当者に送らないと、見えていただけの可能性がある。このときには、ある程度企画書を用意しておく。
- 2 2企画書を送付する場合は、相手に到着したと思われる日から2~3日以内にフォローアップの電話をしよう。お会いする場合は、相手に到着したと思われる日と同じように確認を。万が一、変更が必要になった場合は、できるだけ早く連絡をすること。
- 3 3お会いする場合は、担当者が一人ではない場合もあるので、企画書を多めに準備していい。できたら名前があると、自己紹介しやすい。



## 企画書作成のコツ!

企画書には、活動の目的と主なプログラムの内容や、過去に実施した活動の紹介を、A4 1~2枚で簡潔にまとめよう。

### ★内容例:

1. あいさつ文と、代表者の氏名・連絡先、電話やEmailなど、複数の連絡方法を書いておくこと。担当者は忙しいので、文章は「丁寧かつ簡潔に」がポイントです。
2. 団体の簡単な紹介と依頼目的。
3. 活動やイベントの実施概要。必要なのは、日時・場所、内容、集客見込み(規模)、など。
4. 依頼する内容。希望物品などは、簡潔書きにしてわかりやすくする。

### ★さらに...

活動団体の紹介、歴史がわかる資料を添付すると尚良い。特に、新聞やTVで取り上げられたことがあれば、その記事や内容を紹介すると信頼度が高まる。

### ★終了後も。

できれば、企画の終了後にも、集客人数や参加者の声などを含め、簡単な報告や当日の写真、お礼状を出すといい。

「成功したことを他の人に伝えていって、それを真似しあったり、参考にしたりすれば、どんどん活動が伸びて行くことができる。」  
Neville, オランダ

# 4 HIV/エイズについて まず知っておきたい言葉

**HIV/エイズ** HIV(ヒト免疫不全ウイルス)というウイルス名の頭文字、エイズ(AIDS)は「後天性免疫

不全症候群」という症状の頭文字をとったものです。HIVは「体内に侵入し、免疫(体を守る機能)を攻撃し、多くの場合体内に入り(=感染する)何年か経つと、免疫(体を守る機能)が弱くなり、さまざまな症状が現れます。これをエイズと呼びます。まずはHIVというウイルスの体内でその複製を防ぐこと、そして感染した場合には、免疫系が機能を維持するようHIVの体内での活動を抑制することが重要です。

## ポジティブ/ネガティブ

「感染(=陽性)」、「非感染(=陰性)」という意味のほかに「前向きな」、「前向きでない」という意味にも使われます。また、HIV検査の結果が「陽性(+)」である場合、「感染した」といいます。また、HIV検査の結果が「陰性(-)」である場合、「感染していない」といいます。

## PHA/PWA/PL/WHA

「HIV(またはエイズ)とともに生きる人(びと)」を指す「People (または Person) Living with HIV/AIDS」の略号です。ポイントが「Living」という言葉で、HIV検査の結果が陽性になった場合、HIVに感染しても生きることを指す、というメッセージが込められています。



## セクシュアリティ/LGBT

セクシュアリティは、性に関する個人の行動や傾向を指す言葉です。LGBT(エルジービアン)はセクシュアリティの多様性を包括した言葉で、それぞれ「L」=レズビアン、「G」=ゲイ、「B」=バイセクシュアル、「T」=トランスジェンダー/セクシュアルを跨ぎます。ゲイという言葉は、男性の性的指向を指す言葉として使われることが多く、レズビアンという言葉は、女性を指す言葉として使われることが多く、両方の言葉と併用される言葉として使われることが多くあります。

## STD/STI

STD (Sexual Transmitted Disease) と STI (Sexual Transmitted Infection) はともに性行為によって感染する病気の総称で、STDの中にはSTD(性感染症)と呼ばれるものも含まれます。STD(性感染症)は、性行為によって感染する病気の総称で、STD(性感染症)の中にはSTD(性感染症)と呼ばれるものも含まれます。STD(性感染症)は、性行為によって感染する病気の総称で、STD(性感染症)の中にはSTD(性感染症)と呼ばれるものも含まれます。STD(性感染症)は、性行為によって感染する病気の総称で、STD(性感染症)の中にはSTD(性感染症)と呼ばれるものも含まれます。

# 5 参考になるWebsite

## <エイズの基礎情報、NGOの情報>

- ★エイズ予防情報ネット  
公共機関である(財)エイズ予防財団のHPの一部。エイズの流行状況については、ちよっと専門的だが、この「エイズ動向調査報告」をチェックすることもできる。NGO一覧情報、資料集も充実している。  
<http://api-net.jp/afp.or.jp/>
- ★Life AIDS Project (LAP)  
エイズや性感染症についての基礎知識がわかる。本の紹介ならここ(「関連書籍紹介」)。検索できるリンク集は圧巻。毎年発行しているNGO活動や情報発信も徹底。  
<http://www.lap.jp/>
- ★HIVと人権・情報センター(JHC)  
エイズについての基礎知識が、ポイントを絞ってまとめられている。  
<http://www.npo-jhc.com/>

## <エイズに関する企画をするときに参考になる先輩グループ・NGO>

- ★モラルローナツ  
フリーペーパーや「性感染症日めくりカレンダー」など、自作のツールを掲載。  
<http://www.geocities.co.jp/BeautyCare/845/>
- ★ぶれいず東京  
東京をベースにした地域NGOで、ボランティア研修やイベントを数多く開いている。講師派遣も実施している。セクシュアルヘルス(性の健康)についてのクイズも掲載(<http://shw.ptokyo.com/>)  
<http://www.ptokyo.com/>
- ★AIDS Poster Project  
京朝を拠点に全国で学生向けにスライドを使った講演などを行っている。  
<http://www2.csc.ne.jp/ app/>
- ★Campus AIDS Interface  
バーチャルHIV抗体検査や動画で「コンドームの正しい付け方」を配信している。勉強会や講師派遣、イベントにも出演している。  
<http://cai.presents.to/>
- ★アカー(働くガイとレスビアンの方)  
ゲイ、レスビアンにターゲットを絞った情報発信をしている。性感染症に関する情報発信が特に充実。  
<http://www.occur.or.jp/>

## <エイズに関する活動をしている団体、企業>

- ★日本エイズストップ基金  
**【キャンペーン】** (財)エイズ予防財団によるエイズ知覚事業への支援基金。  
[http://www.jpap.or.jp/stop/a\\_index.htm](http://www.jpap.or.jp/stop/a_index.htm)
- ★フレディマーキューリー基金  
**【活動】** HIV/AIDSで亡くなったロックバンドQUEENのボーカルフレディマーキューリー氏の遺志を継いで、エイズに関する活動を支援する基金を運営している。  
<http://www.fma.gr.jp/>
- ★MTV Japan  
**【キャンペーン】** 12/1の世界AIDSデーに合わせて世界規模のキャンペーンを展開。  
<http://www.mtvjapan.com/>

- ★ザ・ボディ・ショップ  
**【キャンペーン】** (資金助成) 「ニッポン・基金」を通じて、環境問題や社会問題に対して実践的でコミュニティに根ざした活動に取り組む人々たちを支援している。毎年12月1日前後には全国店舗、Websiteでエイズキャンペーンを実施。  
<http://www.the-body-shop.co.jp/>
- ★オカモトコンドームズ  
**【活動】** コンドーム・メーカーオカモト(株)が運営するオンライン・ショップ。「コンドームができるまで」や、性感染症(STD)についての情報が充実。  
<http://www.okamoto-condoms.com/>
- ★durex  
**【活動】** 「健康と教育」など、性感染症予防に関するコンテンツが充実。  
<http://www.durex.com/jp/>
- <検索>  
★HIV検査・相談マップ  
国内の主な都市でHIV抗体検査を受けられる施設が検索できる。  
<http://www.hivkensa.com/>

## NPOとして活動を続けるために

地道な活動を継続させて広がりを持たせようと思つたときには、グループとしての運営能力、特に、「人」「物」「お金」の管理が必要になってくる。そこで役に立つのが「NPOマネジメント」の知識。全国で、NPO向けの助成金情報やイベント、セミナーが開催されているので、活動を続けていくための参考にしてね。

NPO (Non Profitable Organization) : 非営利の民間組織の総称。  
NGO (Non Governmental Organization) : 民間(行政ではない)組織の総称。  
CBO (Community Based Organization) : 特に地域に根ざした活動をするNGO。

## 参考ホームページ

- ★NPO情報ネットワークセンター <http://www.npo-jp.net/>
- ★特定非営利活動法人日本NPOセンター <http://www.jpnpoc.ne.jp/>
- ★NPO広場 <http://www.npo-hiroba.or.jp/>
- ★特定非営利活動法人 NPOサポートセンター <http://www.npo-sc.org/>
- ★シエスニ市民活動を支える制度をつくる会 <http://www.npoweb.jp/>
- ★IHOE(人と組織と地球のための国際研究所) <http://www.ihoec.com/>
- ★NPO法人格の取得 例)東京都の場合ー東京都庁 <http://www.metro.tokyo.jp/>





# 6 怪りにかえて。

1980年代までに少なくとも80%の、そして2010年までに少なくとも95%の感染者が、薬物、注射、ピア穿刺、露骨刺のエイズ感染、HIVに感染し、および同時に同時に力も質も教育を受けざるを得ないことに苦しむ。世界銀行、世界保健機関がエイズ感染の専門家を支援し、また、2001年HIV/AIDSに関する（第53期）（ニューヨーク）

In the fight against HIV/AIDS, the YOUTH—  
HOLD TODAY AND TOMORROW.  
Dabesadi, ナインジェリア

（ユースに必要なのは、）プレゼンテーション力、自尊心、包括的なサポートのネットワークだと思ふ。  
Sepeka, フォジ

私たちは他のグループと協力して、活動をお互い手伝ったり、集めた資金を共同で使ったりもして、一緒に活動して、事務を手伝ったり、ハンドブックなどを分けてもらうこともあるし、集めた資金を共同で使ったり、色々な人と協力し合っているわ。経験から学ぶことができて、みんなが大人とのコラボレーションの良ところ。ボスター、レッドリボン、ハンドブックなどリソースをもらえるほか、うまく行かなかったときにアドバイスをもらえること。僕をすべきかを教えてくれる人ではなくて、助けてくれる人、とくに決断をしないといけないときに、その重要性や意味を一緒に考えてくれる人、そういう人が必要ね。  
Evinosa, イギリス

自分を感じる事が大切だ。自分の将来を想って、自分の将来のための決断をすること。どんな決断をするとしても、自分にとってその決断が本当に正しいかを確かめる必要がある。そしてその決断は自分の将来に影響するんだったという事を覚えておく必要がある。  
Seoul, 南アフリカ

若者同士が教えあう性教育のプログラム、ピア・エデュケーション・プログラムを実施できるようにすることが重要だ。  
Ceyhan, トルコ

ユースは指導されることは多くても、耳を傾けてもらう機会が少ない。オトナと一緒に考えられる機会が必要だと思ふ。あと、情報、情報、コンドームへのアクセス、そして自分自身で決断できること、これが重要だと思ふ。  
Vincekt, フィリピン

HIV/AIDSに取り組むためには、自分たちの考えていることについて親やオトナたちと話をする事も大切だと思ふ。  
Shandy, カンボジア

学生の関心のあるテーマを尋ねてタイトルを付けたり、できるだけ楽しい雰囲気になるように、全員の画りつけやデザイン作成を工夫してる。  
セウ、日本

個別施策層に対する固有の対策に関する研究

在日外国人に関する対策の研究

グローバル時代の在日外国人エイズ対策の展望

—タイ人 HIV 陽性者の支援モデルの検討を中心に—

分担研究者	沢田 貴志	特定非営利活動法人 国際保健協力市民の会
研究協力者	芦田 崇	特定非営利活動法人 国際保健協力市民の会
	稲場 雅紀	特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会
	枝木 美香	特定非営利活動法人 アーユス仏教国際協力ネットワーク
	大西 真由美	特定非営利活動法人 HANDS
	鶴田 浩史	HIV/AIDS 在日外国人支援ネットワーク
	李 祥任	特定非営利活動法人 国際保健協力市民の会

研究要旨

日本のエイズ対策の中で外国人を含めた対策の重要性が指摘されて既に 10 数年が経っているが、現実の対応は大きく立ち遅れている。先行研究によれば、外国人感染者は一般に検査や医療を受け難く、免疫が著しく低くなってから重症患者として受診し、そこで初めて診断を受けることが多い。このことは、患者の生命予後を極めて悪くするのみならず、感染症対策上も大きな課題である。

本研究は、外国人エイズ患者の置かれている状況を帰国支援を行っているタイ大使館の相談窓口から把握することを試みると共に、大使館・NGO・医療機関の3者の連携の促進が外国人エイズ患者の QOL の向上や予防啓発の推進に資する可能性について検討した。

調査の結果、在日タイ人の間では生命に危険な状態になるまで医療機関を受診しておらずにエイズを発症するケースが多いことが改めて示された。

これまで大使館・NGO などが別々に相談事業を行っていたが、今回両者が連携し帰国するエイズ患者への診療情報の提供を行ったところ帰国支援が効果的に行われ、母国側の医療環境の好転とあいまって帰国後の ARV 治療が実現するようになった。部門や国境を越えた新たな連携モデルによる支援が外国人エイズ患者の QOL の向上に役立つことが事例として示された。また、こうした取り組みや母国での治療状況の向上についての積極的

な広報を外国人コミュニティに行うことで予防啓発の意味でも効果的であることが示唆された。また、日本においてエイズを発病する外国人の母国であるタイ・ペルー・ウガンダ等の国における医療事情の調査も同じに行い今後の展望を検討する一助とした。

## A. 研究目的

日本におけるエイズ患者報告に占める外国人の割合は24%と多く、個別施策層のなかでは男性同性愛者に次いで大きな人口集団である。なかでも開発途上国出身の健康保険を持たない外国人の割合が高く、母国での医療体制の遅れや日本での受診の困難さから検査や治療への導入が困難とされていた。しかし、近年 GFATM（世界エイズ結核マラリア対策基金）やWHOの3 by 5プログラムの導入により、開発途上国のなかでもエイズ診療体制の立て直しが進み始めようとしている。こうしたなかでどのようなエイズ対策が在日外国人に対して取られるべきか、抜本的な見直しを行う時期に来ている。

本研究では、日本でエイズを発病した外国人の中で国籍別で最も人数が多いタイ人を対象に、エイズ患者の置かれている状況や支援体制などの現状の把握を行った。さらに大使館とNGOによる協力による支援の実施が感染者のQOLの向上にどのような影響が生じるかを検討した。アジア・アフリカ地域のなかでは最もエイズ診療体制の整備が先行しているタイについて在日外国人の状況の把握と支援モデルの構築を行うことにより、今後の他の地域出身者への適応が可能な対策を展望することを目的とした。

## B. 研究方法

調査は大きく4つの部分に分けられてお

り、それぞれについて調査方法を述べる。

### 1) タイ人エイズ患者の現状調査

東京にあるタイ王国大使館領事部では、自国民保護の立場から担当者をおき、在日タイ人重病人が円滑に帰国できるように相談事業を行っている。対象地域は中部地方以東であり、関西地方以西は大阪の領事館が担当している。2004年1月より2004年12月にかけて医療機関や入国管理当局、及び本人から相談のあった43人の重病人リストより、エイズ発症によることが明らかな21名について検討を行った。

### 2) タイ人 HIV 陽性者への支援の枠組み

在日タイ人エイズ患者に対して日本国内で提供されているサービスを、行政機関・NGO・大使館など関連する機関の聞き取りによりまとめた。

### 3) 早期相談モデルの構築と効果

2003年にタイ国内で抗レトロウイルス剤治療の無料化政策が全国に展開された。これにより、滞在資格が切れている在日タイ人エイズ患者でも、帰国すればHAART治療を受けられる可能性がでてきた。

首都圏でタイ語で医療や福祉の支援を行っているNGOの連絡組織であるHIV/AIDS在日外国人支援ネットワークとタイ王国大使館、港町診療所の3者がそれぞれの特徴を生かしたエイズ患者支援を相互に連携しながら提供をした。

具体的には、タイ王国大使館領事部が行っている自国民保護のための活動と、NGOが行っている通訳派遣・帰国後の医療機関

の情報収集・在留資格や医療費制度に関する相談などの支援を連繋させることでタイ人 HIV 陽性者の医療へのアクセスにどのような変化が生まれるかを観察した。

タイ王国大使館は重病人を含む生活困窮者の帰国を支援するために必要に応じて臨時旅券の発行・出国手続きの代行・帰国便の調達・福祉省への連絡などの業務を行っている。これにより把握したエイズ患者について港町診療所と NGO に協力を求めた。港町診療所では日和見感染症に対する外来診療を行い、必要に応じて入院施設への橋渡しを行った。この際、HIV/AIDS 在日外国人支援ネットワークが医療通訳の派遣もしくは電話通訳の実施を行った。さらに、国際保健協力市民の会のタイ事務所を通じて患者の帰国後に受けられる医療について調査し、帰国前に本人に伝えることを行った。

これまでタイ大使館で把握するエイズ患者は、重症で発病・入院し医療機関側から帰国のための支援依頼がよせられるものがほとんどであった。この場合、告知時に通訳はつかず、多くの場合治療の将来像について患者は知ることがなく帰国していた。これに対して、連携モデルの構築後は大使館が把握した全ての患者に対して母国での医療の状況についての情報を提供した。また、2004年1月より12月までの間に港町診療所を受診した4人のエイズ患者とタイ大使館に緊急保護された3人については、3者の連繋下で告知時のタイ語通訳や電話相談などの継続的支援を提供した。この7人については、帰国後の転帰についても継続的な調査を行った。

#### 4) エイズ診療事情調査

タイ・ペルー・ウガンダ等の国でのエイズ診療の状況につき、現地調査を行った。情報収集の方法は、保健省担当者・NGO

スタッフ・HIV 陽性者団体メンバーなどに対するインタビューと公表されている資料の収集である。

### C. 研究結果

#### 1) タイ人エイズ患者の現状

2004年1月より2004年12月までにタイ王国大使館に相談のあったタイ人重病人は43人であったがそのうち21人がエイズを発病またはCD4が200以下に低下し高度の免疫障害をおこした相談者であった。

内訳は男性9名、女性12名で平均年齢は36.4才、出身は北部が7人、東北部出身者が11人、不明が3人であった。発病時の居住地は神奈川が6、千葉と栃木が4、茨城が2、東京・長野・福島・愛知・山梨が各1人であった。ただし、西日本は大阪の領事館の担当となっていること、大使館の支援を得ずに帰国した例もあると予測されることから日本でエイズを発病し帰国する病人の数はさらに多いと思われる。日和見感染症はカリニ肺炎7、結核4、カンジダ4、CMV・細菌性肺炎2、MAC・トキソプラズマ症各1であった。連絡時のCD4中央値は12 (N=11) と著しく低かった。

#### 2) タイ人 HIV 陽性者への支援の枠組み

従来、タイ人エイズ患者の利用できる支援としては行政側と NGO のサービスが知られているが、タイ王国大使館の果たしている役割についてはあまり知られていない。以下、3者の役割について概略を示す。

##### a. 行政のサービス

東京都衛生局ではエイズカウンセラーとしてタイ人の相談員を1名雇用し、都立病院を始めとしたエイズ拠点病院の求めに応じて派遣カウンセリングを行っている。また、新宿区では西新宿保健センターで毎週木曜日の午後に他言語

のエイズ電話相談と無料 HIV 抗体検査を実施しており、タイ人スタッフがタイ語で対応を行っている。また茨城県でも英語・タイ語を含む外国語で HIV 抗体検査ができる体制を取っている。

#### b. NGO の取り組み

HIV/AIDS 滞日外国人支援ネットワークでは、タイ語のできる NGO スタッフが合同で研修を積みタイ人 HIV 陽性者のための通訳派遣を行っている。また、シェア＝国際保健協力市民の会では、タイ語のエイズ電話相談を実施しているほか、同会のタイ事務所よりタイ側の医療機関の情報の収集と相談者への提供を行っている。AMDA 国際医療情報センターでは、多言語で医療制度や医療機関の情報の提供を行っているが、医療機関からの求めによりタイ人看護師を派遣し通訳・カウンセリングの提供を行っている。多くの団体がタイ人が集住している関東地方での活動を行っているが、CHARM など関西地域で電話相談や HIV 陽性者の受診や受検の支援を行っている団体もある。

#### c. 大使館

タイ王国大使館では、従来自国民保護の立場から帰国を希望する重病人や人身売買被害者などに対して相談窓口を設け保護・支援に力を入れてきた。多くの場合、帰国のためには、旅券の再発行や入国管理局への出頭の補助などが必要となり大使館の関わりが重要となる。

#### 3) 早期相談モデルの構築と効果

タイ大使館では、多数のエイズ発病者が重篤な病状になるまで医療を受けられていない現状を鑑み、NGO との連繋で相談にあたっており、巡回移動領事部やタイ語月刊紙上などを通じて告知をしている。2004 年には 7 人のエイズ患者が入院をする以前

の状態ですぐに直接または NGO 経由で大使館に相談に来ることが実現した。以後、こうして入院前に相談に来たエイズ患者を直接相談群、重篤な病態で入院してしまい病院から大使館に支援要請が来た患者を入院群として比較を行った。

表 1 直接相談群と入院群の比較

	入院群	直接相談群
総数	14	7
男性	6	3
女性	8	4
平均年齢	36.4	37.1
初診 CD4 中央値	12	13
転帰		
死亡	4	0
帰国	9	5
継続	1	2

直接相談群の 7 人の男女の内訳は男 3 人、女 4 人、平均年齢は 37.1 才であり、出身地は北部が 6、東北が 1 であった。居住地は神奈川 3、千葉 2 が多いが、愛知・山梨各 1 と遠方からの相談もあった。サービスを知ったのは、口コミとタイ語情報紙、NGO の啓発チラシなどであった。入院治療が開始されてはいないが、全員顕著な自覚症状があり相談後の受診の結果、初診時 CD4 中央値は 13 と入院群と大差はなく、口腔カンジダ 4、結核 2、細菌性肺炎・CMV 網膜炎各 1 がすでに始まっていた。

転帰については、直接相談群の予後が大きく改善しており、5 人が帰国しうち 3 人が既に HAART 治療が開始されたことが確認された。2 人が日本国内で治療継続中であるがうち 1 人は滞在資格を取得し HAART が開始されている。HAART が開始されていない 3 人のうち 2 人はいずれも現在結核治療中であり、結核治療が終了した後に HAART が開始される予定である。

残る1名は帰国し受診を開始したばかりであり HAART は開始されていない。

直接相談群では以上のように、国内及び帰国後の治療への導入が確実に行われた。

#### 4) ピアサポートの影響力

直接相談群の7人はいずれも体調の不良を自覚しながらも治療を受けることが困難であると感じて医療機関へのアクセスが遅れていた。しかし、ひとたび医療機関へのアクセスが可能になるとエイズ治療に対して前向きな姿勢を示すようになった。特に HAART が開始された4人のうち2人は、日本で医療へのアクセスを躊躇している他のタイ人エイズ患者に対して治療を勧めるなどの積極的な働きかけを行うようになった。残る1名も機会があればボランティアをしたいといった言動が聞かれるようになった。

#### 5) エイズ診療事情調査

タイ・ペルー・ウガンダといった国々では、いずれもグローバルファンドの資金をもとに抗レトロウイルス剤による治療のプログラムが始められている。しかし、その普及率は国による格差が極めて大きく、タイ及びブラジルのように国民全体を対象とすることが可能になった国は非常に希である。ペルー及びウガンダを始めとするアフリカ諸国では、抗レトロウイルス治療のプログラムがカバーできる人口は治療を要する HIV 感染者のうちの数%に過ぎないのが現実である。しかし、今後医療体制の整備や治療に対する知識の普及が進めば、対象者が拡大していくことが予測される。

#### D. まとめ及び考察

タイ大使館での調査は、現在もなおタイ人 HIV 陽性者の受診が抑制されており

CD4 が 50 以下の危機的な状況になるまで医療の継続につながっていないことを示している。これまでもタイ人エイズ患者への支援は行政機関、NGO などで行われてきたが滞在資格のない場合にはエイズを発病しても治療を受けられない場合がほとんどであった。このため、在日タイ人社会ではエイズに対する絶望感が強く、HIV に感染している可能性を認識していても支援へのアクセスを行わないことがほとんどであったと思われる。

今回、タイ大使館と NGO のネットワークが協力しタイ側の医療の向上に関する情報を伝えながら情報提供を行ったところ、母国での治療への導入を円滑に行うことができた。

入院群と直接相談群を比較すると、性・年齢・CD4 などの属性には差異がないが、死亡数が少なく、全例で帰国後 HAART を前提とした外来診療が開始され、うち3人は既に HAART で社会生活に復帰したことが報告された。また、発病はしているものより早期に相談が開始されるために医療費の未払いとなる確率も少ない。ほぼ全員が複数の日和見感染症の治療を要したが未払い額は平均 14 万円と過去の調査の報告に比べて著しく少なかった。

従来、多くのタイ人エイズ患者は、入院を必要としない程度の日和見感染では、医療機関を受診しなかったり、受診しても医療機関側が単に帰国を薦めるのみであったため治療が継続されないことが多かった。しかし、今回大使館を含めたネットワークで積極的に母国側の治療が改善したことに関する情報を提供したことで、直接相談群ではほぼ前例で帰国後の医療の開始が確認された。入院群についても帰国前に母国で公費負担で HAART 治療が受けられる施設の HIV 担当看護師名を調べて伝えており、多数の患者が治療を開始したのではないか

と期待される。

前述のようにタイ政府は 2003 年より、全国の公立病院で抗レトロウイルス剤による治療が可能になるように体勢の整備を進めてきた。これによって特に裕福な人でなくとも帰国後に HAART を受けられる可能性が急速に高まってきた。現在タイ政府が行っている ART プログラムに参加するためには、まず住民登録を行っている地域の指定医療機関に行き、患者登録をする必要がある。タイでは、現在行われている 30 パーツ政策のもとで、各病院に管轄地域の住民の健康管理のための予算が分配され、住民はそれぞれの居住地の指定医療機関に受診した場合にのみ公費で減免された価格で医療を受けることができる。タイ政府が現在無料で配布している抗レトロウイルス剤での治療を受ける場合も同様である。そこで、日本で継続的なエイズ診療が受け難いタイ人患者に対して患者の住所登録地での病院の受け入れ状態と担当看護師の名前連絡先を伝えることを全例に徹底した。

入院群のなかには、日本国内で医療費の支払いが困難となっている場合が多数であったが、医療相談員や医師に対して情報提供を行った結果医療費問題が解決した例が少なからずある。入院時に高熱、咳、体重減少、腹部リンパ節腫脹、体重減少などのうち幾つかの症状を訴えていた 3 人について、胃液検査などを勧めたところ結核性疾患が証明され公費負担が実現した（結核予防法 35 条）。

また、滞在資格が切れた状態で日本人の配偶者となっていた 1 人について、更生医療による公費負担が実現した。

従来、タイ人エイズ患者が滞在資格を失っていた場合に重篤な日和見感染を発病するまで受診がされず、入院しても日和見感染治療のみで帰国となり多くの場合は帰国後死亡していたものと思われる。こうした

状況は、人道的にも大きな課題であったと同時に、医療を受ける動機付けにならず感染者の潜在化につながり公衆衛生上も深刻な事態であった。しかし、今回多くのタイ人エイズ患者が HAART を含む積極的な治療を受けられることが確認されたことで、タイ人エイズ患者についても早期の受診による QOL の改善が可能となってきたことが示された。母国で HAART 治療を始めた 3 人のうち 2 人は、帰国後電話や手紙を通じて、日本にいるタイ人エイズ患者にタイの治療の向上について伝えることに協力しており、結果的に日本のエイズ対策への貢献をしている。

グローバルファンドと WHO の 3 by 5 プログラムが開始された以降の開発途上国では今後急速に治療の導入が進むことが期待される。在日外国人に対するエイズ対策はこのことを前提としたものに抜本的に見直すべき時期に来ている。

2004 年 12 月に慶應義塾大学で開催された国際シンポジウム「HIV/AIDS と共に生きる在日外国人との支援・共生のありかたを考える」でもこうしたことが議論され、HIV に感染した外国人に対する支援を滞在資格に関わらず実施していくことの重要性が確認された。今後各国で治療の改善が段階的に進むことを考慮し、タイ・ブラジルなど治療の先進地域の出身者に対してまず支援モデルを作り、状況の改善に合わせて他地域の出身者に対して広げていくことが有効であると考えられる。

## E. 結論

在日タイ人エイズ患者の医療へのアクセスは依然として遅れており、大多数が CD4 が極めて低値となるまで受診をしていない。しかし、今後母国の医療の向上についての情報を含めたケアサポート体制を構築し、

他部門間の連携で早期受診の意義を訴えていくことで状況の改善に資することができることが示唆された。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 沢田貴志: HIV 陽性外国人女性への援助. 小児内科.37:378-381. 2005
- 2) 沢田貴志: アジアに勇気を与えたバンコク会議. 日本エイズ学会誌:Vol.6 198-201. 2004
- 3) 沢田貴志: エイズと向き合う地域社会を作る東北タイでの取り組みと NGO. 日本エイズ学会誌:Vol.6:539. 2004
- 4) 李祥任, 沢田貴志, 他: 東北タイの抗 HIV 薬プロジェクトにおける草の根レベルの取り組み第一報～感染者グループ・病院・NGO の協力による服薬支援～. 国際保健医療 vol.19(増刊)153. 2004

### 2. 学会発表

- 1) 沢田貴志, 松延恵. 神奈川県における医療通訳制度化の取り組み. 日本病院学会全国学術集会. 2004年7月. 横浜

### 3. シンポジウム・研修会の実施

- 1) 国際シンポジウム「HIV/AIDS と共に生きる在日外国人との支援・共生のありかたを考える」. 2004年12月4-5日. 東京
- 2) 医療相談員のための外国人医療入門セミナー「外国人 HIV 感染者の治療環境と支援」. 2004年11月8日. 東京（関東甲信越ブロック拠点病院と共催）

## G. 知的財産権の出願・登録状況

なし



個別施策層に対する固有の対策に関する研究

在日外国人に関する対策の研究

タイにおける ARV 治療

—タイ東北部シェア活動地の現場から 2004 年—

李 祥任 特定非営利活動法人 国際保健協力市民の会

■ 政府の無料 ARV 提供プロジェクト

2001 年に一部の地区から政府による ARV (=Anti-retroviral. 抗 HIV 薬を示す) 無料提供 ‘Access to Care プロジェクト’ (ATC プロジェクト) が開始された。2002 年 3 月には、タイ政府製薬機構 (Government Pharmaceutical Organization) で安価な ARV 製造が始まり、また 2003 年からはタイへグローバルファンドの資金が投入されるなどした経過から、同年に全国の公立病院でもこのプロジェクトの元、ARV の多剤併用療法 (以後 ARV 治療と示す) が提供される方針となった。(参照：表 1. 治療開始基準)

実際のところ、2003 年には 630 の病院が提供を開始したにとどまったが、2004 年には全国の公立病院での開始が達成された。また、2004 年度末までに 50,000 人以上の HIV 感染者が ARV の提供を受けた。タイ公衆衛生省は、2005 年に 80,000 人にまで提供を拡大することが可能であると話している。

表 1. 治療開始基準

1. ARV を開始する身体的状態と判断された人  
例：免疫指標数 (CD4 数) の低下 ( $250/\text{mm}^3$ ) 以下で AIDS 指標疾患を発症している人、あるいは CD4 数が  $200/\text{mm}^3$  以下の人
2. 治療を正しく理解し、継続して飲む意志のある人
3. 治療開始の判定に必要な初回 CD4 検査費用を自己負担できる人  
(\*しかし各病院の負担に応じて値段は異なる)

\*治療開始後は 6 ヶ月毎に CD4 の測定を行う。

## ■ シェア活動地における HIV 医療状況

シェアが活動しているタイ東北部ウボンラチャタニ県の県保健局 AIDS 対策課のまとめ報告によると、当県において 2004 年 7 月までに ARV 治療を開始した患者数は 1,127 人にも上り、そのうち 940 人 (83.4%) が、治療を継続している。県として ARV 治療を開始した患者数がこれほどまでに増加し、数としても多くなか、83.4%の継続率はまずまずの結果を出しているといえる。一方、アムナチャラン県は、2003 年に県全体として 55 人の開始者数にすぎなかったが、2004 年末には約 4 倍の 210 人に増加した。その背景には、2003 年度の ARV 提供枠は 120 人と設定されていたにも関わらず、2003 年に開始者数が伸びなかったことを受けて、県保健局、県病院、シェア、シェアの支援する HIV 陽性者グループリーダー達が検討会議を開き、その状況分析に基づいて様々なアプローチをとったことも関与していると考えられる。例えば県保健局は、県全土において中央の市内から各郡の村レベルに至り、ヘルスセンターのネットワークや地元のラジオ放送を活かしてエイズや治療の情報を提供した。そして、シェアも活動地の各村で「エイズをコントロールできる治療薬の提供がされている」という Positive な情報として村人に伝える努力をした。また、陽性者グループリーダー達は、県内 3 病院で行っている月例会などで、治療の情報をメンバー達へ継続的に紹介していき、治療を開始したメンバーの経験を他のメンバーへ共有してきた。

シェアが活動している病院レベルでは、ウボンラチャタニ県ワリン郡病院で、2003 年から ARV の提供を開始後、2004 年度末までに 176 人が ARV 治療を開始した。HIV 陽性者グループのリーダー達と看護師との連携も良く、熱心に陽性者の月例会で治療教育や、家庭訪問によるフォローアップなどを努めており、162 人 (92%) が治療を継続しているという好成績を挙げている。また、当院は数県を管轄する疾病管理局第 7 区における HIV 診療・ケアのモデル病院として、看護師による会議での発表や病院への見学者訪問などがいくつも実施されている。

多くの公立病院が ARV 治療を初めて開始した 2003 年と比べて、シェアの活動地においては経験の浅い病院が結核を合併した ARV 内服者へ誤った処方を出すような問題はあまり聞かれなかった。国としても 2004 年に、HIV と結核医療の連携を重要課題として、HIV 陽性者または結核患者における他方の疾患のスクリーニング検査を推奨するシステムを導入し、両疾患を総合的に診ることによって死亡者を少しでも減らし、治療の成功を目指す努力をしている。

しかしながら、ARV 治療を開始した HIV 陽性者を取り巻く状況はなお様々にあり、親戚や祖父母と暮らすエイズ孤児の内服・通院に関する問題や、他病院で治療中断後に十分フォローアップされていない患者などみられ、感染者グループリーダー達やシェアが、病院と連携しながら対応してきた。また今年も、輸入している ARV などの在庫が、国家レベルで需要に見合う数量を確保できない恐れがあるとの情報が、地方の保健行政職員から流れて不安になる場面や、シェアの活動している病院の一つでは在庫を切らしてしまい、通常 3 剤併用するべき治療が、短期間ながら一時的に 2 剤のみで処方されてしまったなど

の混乱が生じた。しかし、病院職員とシェア、HIV陽性者グループの連携で、その対応や再発防止等に取り組んだ。

これまでにシェアは、HIV陽性者グループや、各病院でHIVケアを中心的に担当する部門と連携してHIV陽性者支援に取り組んできた。そうしたなかで、ほとんどの医療従事者にとって経験のなかったARVの提供が開始され患者が急増したことは、HIV医療体制にとって大きなチャレンジであった。上記のエピソードは、我々のチーム（HIVケアの担当部門・陽性者グループ・シェア）とHIV医療に関係する他科との連携や、院内での関連部門同士が連携し合うことの重要性を見直す機会となった。現場ではシェアがHIV陽性者グループを主体としながら、HIV陽性者への診療・ケアの向上や診療体制の効率化へ向け、関連部門との会議を重ねてきている。

ARVの在庫管理や供給システムなどの改善は、国レベルでも重要な課題であり、そのことをモニタリングしていくことは患者の権利を守るためにも、また、公衆衛生の向上のためにも重要である。そこで、シェアの活動地でもHIV陽性者やNGOというコミュニティ側からの参画を高めて、地方の医療行政と連携しながらARV治療システムの安定化や、個々の患者における治療の成功を目指し、引き続き取り組むことが必要である。

#### \* その他

##### 30 パーツ健康保険制度の情報

30 パーツ健康保険制度において、エイズ関連の薬は現在、日和見感染の治療薬および予防薬のみが対象である。公衆衛生省はARVも漸次この制度でカバーする方針であることを発表したものの、方針が適応される日時は延長されてきた。しかし、公衆衛生省から地方保健行政に通達した内容によると、ようやく2006年からこの制度に含まれることが予定されている。

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）  
分担研究報告

個別施策層に対する固有の対策に関する研究

在日外国人に関する対策の研究

HIV 陽性在日ラテンアメリカ人のセクシュアリティ  
— disembodiment と embodiment —

Genaro Castro-Vazquez 慶應義塾大学文学部  
樽井 正義 慶應義塾大学文学部

背景

- ・ 在日ラテンアメリカ人とインフォームドコンセント
- ・ コミュニティ・サポート

対象者

	HIV感染者	AIDS患者	総数
日系ブラジル人	8人	7人	15人
日系ペルー人	2人	1人	3人
ブラジル人	1人	—	1人
ペルー人	—	1人	1人
総数	11人	9人	20人

- ・ 全員男性
- ・ 超過滞在者は3人（インタビューの中での本人の発言による）
- ・ 男性同性愛者は8人（インタビューの中での本人の発言による）
- ・ 年齢は28歳から37歳まで
- ・ 面接調査期間2002年－2004年

サンプリング方法

- ・ 病院の紹介で4人